

総社市内の高齢者施設での新型コロナのクラスター発生に伴う対応 ☆陽性者13名(入所者6名,職員5名,職員家族2名) 10月21日(水)市内1例目岡山県発表, 11月19日(木)クラスター収束宣言【取り扱い注意】									
日時	陽性者計	入所者	職員	職員家族	GH吉備の里で発生した状況	県(県民局・HC含む)の対応	市で行った対策	詳細	
10月20日	火				○ 新型コロナ陽性発生と吉備の里から連絡が入る	○ 保健所現地入り ○ 県クラスターチーム派遣	○ 職員2名現地へ(情報収集) ○ 物資提供(マスク)	○ 保健所の指示により1階無症状者, 2階有症状者に分けた	
10月21日	水	4	3	1	0 ○ 感染者4名(入所者3名 職員1名) ○ 物資不足 →即日物資を総社市から届ける	○ 陽性者の病院移送	○ 職員2名現地へ(備中保健所より情報を得る) ○ クラスターチーム・県との協議 ○ 市長記者会見(3つの対策公表) ○ 物資提供(消毒液, 除菌シート, 紙皿, 割りばし, 紙コップ, プラスチック手袋, ゴミ袋, 使い捨てガウン, ゴミ箱, フェイスシールド) ○ 市公式LINE(陽性者確認, 市独自対策)	○ 市長会見 (1) 法人自らが他の施設に迷惑をかけたくないとの思いを持たれ, ご自身のHPで公表すると連絡があったので, 施設名を公表。 ○ 市独自で, 施設を守り, 感染拡大防止するため, 3つの対策を実施。 ① 陰性の濃厚接触者の職員家族(希望者)にPCR検査 ② 陰性の濃厚接触者の職員家族(希望者)に宿泊場所用意 ③ 10/22市内介護事業所対象に緊急WEB会議開催 (2) 市民の皆様には, 感染された方や高齢者施設に感染した責任あるわけではないので, 誹謗中傷や個人攻撃は絶対しないようをお願いする。SNSやHP等でしっかり情報発信していく。	
10月22日	木	4	3	1	0 ○ 職員3名退職。施設から事業継続困難のため陰性の入所者を入院させてほしいとの申し出あり。 ○ 職員と家族のメンタルヘルスケア希望	○ メンタルセンター岡山作成の啓発チラシ提供	○ 介護施設事業所との緊急WEB会議で情報共有 ○ 同居家族が希望した場合の宿泊場所の提供(費用は市が負担) →職員家族(夫, 息子)が宿泊(10.22~10.31) ○ 施設から陰性者の入院希望を受け, 全入所者の詳細な介護状況をアセスメント ○ 必要物資GHへ提供・貸出(非接触型体温計, 血圧計, ビニールエプロン, キャップ)	○ WEB会議(事業所へメッセージ) ・市長⇒「今回の高齢者事業所での感染発生を踏まえ, あらためて感染予防を徹底しながらサービスの継続を依頼。総社市から高齢者事業所へ必要な感染予防の物資(マスク, 消毒液など)を提供。」 ・保健福祉部長⇒「保健所の見解では, 今回の(吉備の里における)事業において, 他の事業所にまで感染が及ぶ可能性はないことが確認された。」	
10月23日	金	8	4	4	0 ○ 施設から事業継続困難申し出を受け, 県と協議。 ○ 感染者4名(入所者1名 職員3名) ○ 陰性入所者5名市外病院へ移送	○ 入所者陰性9名全員の入院決定・入院先調整・うち5名移送 ○ GHへ物資大量搬入	○ クラスターチーム・県と, 全入所者の詳細な介護状況を基に, 11時から協議。13時30分に陰性入所者の入院決定。トリアージ開始(備中保健所Web参加) ○ そうじョークラスター撲滅プログラム(6項目) ○ GHへ物資大量搬入(県・市) (使い捨てガウン, サージカルマスク, エタノール, フェイスシールド, プラスチック手袋, キャップ, N95マスク, ゴーグル) ○ 市公式LINE(クラスター発生, 施設休止予定)	○ 撲滅プログラム ① 関係者の不安・症状に寄り添うため PCR検査をさらに徹底 ② 関係者の不安・症状に寄り添うため 市負担で宿泊所確保 ③ クラスター防止研修実施 ④ 退院したときの受け入れ先確保 ⑤ 誹謗中傷・人権侵害の防止 ⑥ 介護の相互支援体制の組織化	
10月24日	土	8	4	4	0 ○ 陰性入所者市外4名搬送 ○ 入所者全員移送し, 施設休止	○ 入所者陰性4名移送	○ 同居家族に不安・症状のある場合に, 地域の医療機関の診療の上, 検査につなぐ(費用は市が負担)⇒職員家族10名のPCR検査実施(全員陰性) ○ 職員の家族(父母, 夫, 長女, 次男, 次女)が宿泊(R2.10.24~R2.10.27) ○ 移送立会 ○ 市公式LINE(全員入院, 施設休止)		
10月25日	日	8	4	4	0		○ 第4回の総社市感染症専門家会議(必要な対策を議論) ○ 吉備医師会役員と市長との懇談(今後の連携を確認) ○ 市公式LINE(専門家会議, 市独自対策)		
10月26日	月	8	4	4	0 ○ 陰性入所者2名転院(市内病院)	○ 陰性入所者2名受け入れ・移送調整	○ 介護施設事業所に向けたWEB研修(倉敷中央病院 上山伸也先生・1回目) ○ 転院立会 ○ 職員家族13名のPCR検査実施(全員陰性)	○ WEB研修後, 保健福祉部次長より, 189事業所のネットワーク構築について, 10月27日に素案を提示し, 各事業所からの意見を求める旨呼びかけ。	
10月27日	火	10	6	4	0 ○ 感染者2名(入所者2名) 計10名 ○ 陰性入所者3名転院(市外1・市内2)		○ 転院立会 ○ 職員家族3名のPCR検査実施(全員陰性) ○ 市公式LINE(新たな感染者)		
10月28日	水	11	6	4	1 ○ 感染者1名(職員の同居の家族) 計11名		○ 市長協議 ○ 市長記者会見(3つの対策を公表) ○ 市長 倉敷中央病院訪問(受け入れと研修のお礼) ○ 市公式LINE(新たな感染者・ネットワーク・地域会議)	○ 市長会見 ① 市内49法人, 189施設・事業所で構成する情報・スキルの共有の枠組みとして「総社市介護保険関係施設事業所ネットワーク」を組織・10月28日発足 ② 10月30日に地域関係者を集めた連絡会議を緊急開催 ③ 11月5日に感染予防対策Web研修開催	
10月30日	金	12	6	5	1 ○ 感染者1名(職員) 計12名 ○ 陰性の入所者1名転院(市内)		○ 地域関係者向け緊急連絡会議(地域での感染予防と人権侵害防止を要請) ○ 転院立会 ○ 県へ広域受入協力依頼文書提出 ○ 市公式LINE(新たな感染者)		
11月2日	月	12	6	5	1 ○ 陰性の入所者1名転院(市外) ○ 施設再開確約書提出(12月1日再開予定)				
11月3日	火	12	6	5	1 ○ 入所者(陽性・陰性)は現在, 県内複数の医療機関のご協力をいただき入院中。 ○ 介護職員も入院(陽性)または自宅で経過観察中(陰性)				
11月4日	水	12	6	5	1	○ 介護保険関連団体協議会と広域受入協議(総社市同席)	○ 県へお礼と要望 ○ 松山岡山県医師会会長訪問(お礼, 進捗説明) ○ ネットワーク幹事会(11/5の発足式にむけて)		
11月5日	木	12	6	5	1 ○ 介護保険関連団体協議会から広域受入の協力依頼発信⇒7団体より, 39~42名の受入可能と回答あり。	○ 介護保険関連団体協議会から広域受入の協力依頼発信⇒7団体より, 39~42名の受入可能と回答あり。	○ ネットワークの発足式 ○ ネットワーク向けWEB研修(倉敷中央病院 上山伸也先生・2回目) ○ 倉敷中央病院と転院協議(地域連携)		
11月6日	金	13	6	5	2 ○ 感染者1名(職員の同居の家族) 計13名 ○ 陰性の入所者1名転院(市外)				
11月7日	土						○ 市公式LINE(新たな感染者・ネットワーク発足)		
11月10日	火						○ 実地研修(GH吉備の里 倉敷中央病院 上山伸也先生)	○ 現地で, 具体的な感染症対策の徹底を指導。	
11月11日	水				○ 施設11月14日再開発表(当初予定より半月早い)				
11月13日	金						○ 市長 吉備の里訪問 ○ 再開にあたり施設状況や感染対策を現地確認(長寿介護課2名) ○ 市公式LINE(施設再開)	○ 吉備の里の再開にあたっては, 施設内の消毒, 洗浄はもとより, 介護職員のPCR検査の結果や経過観察により, 健康面においても問題がないことを確認。 ○ 岡山県クラスター対策専門家チームの倉敷中央病院感染症科上山医師の実地研修を受け, 感染予防対策について再確認を行った。	
11月14日	土				○ 「グループホーム吉備の里」の再開(1ユニット9名) ○ 同一法人運営のケアホーム清音でも受け入れ		○ 市長ツイッターで施設再開発表 ○ 総社市介護保険関係施設事業所ネットワークで施設再開を発信 ○ 施設に, 「新型コロナウイルス感染症への対応のため, 一時的に人員基準を満たさなくなった事業所については, 国事務連絡のとおり, 利用者の処遇に配慮の上, 報酬算定上の柔軟な取扱いが可能」と連絡	○ コロナ禍にもかかわらず, 利用者やご家族のために, 極度の緊張状態の中, 最前線で働いてくださっている皆様に, 心から感謝いたします。このたびのクラスター発生という未曾有の事業について, 各施設事業所の皆様との不安はいかばかりであったかと拝察しております。そのような中で, 冷静に御対応くださり, また温かい見守りや御支援をくださったおかげで, 市内の混乱を最小限に抑えることができた, 吉備の里の早期再開につながりました。	
11月17日	火						○ モニタリング①(長寿介護課2名)	○ 職員はテキパキと活動。入所者は, 落ち着いており, 距離を取って同方向に座らせるなど工夫があった。 ○ 施設訪問者への手指消毒や体温チェックも徹底されていたが, 記録用紙がなかったので指摘。即時に対応。 ○ 非接触性体温計貸出。	
11月18日	水						○ 広域受入協力施設にお礼訪問(岡山市内5法人)		
11月19日	木						○ 市公式LINE(クラスター収束宣言)	○ (最終発生11/5から2週間経過)	
11月20日	金						○ モニタリング②(長寿介護課2名) ○ 広域受入協力施設にお礼訪問(倉敷市内4法人)	○ 入所者はマスクを着用していない。(県の指導どおり) ○ 職員はマスク又はマスクとフェイスシールドを着用している。	
11月26日	木						○ モニタリング③(長寿介護課2名)	○ リビングの排煙口及びリビングからつながる廊下の掃き出し窓2か所を開けて換気。	
11月27日	金					○ 県内福祉施設関係4団体寛重締結(集団感染で職員不足の場合, 団体の枠を超えて職員派遣)			
12月2日	水						○ モニタリング④(長寿介護課2名)	○ 手指消毒 配膳前に職員が入所者全員に手指消毒実施。	
12月9日	水				○ 職員全員が職場復帰				
12月10日	木						○ モニタリング⑤(長寿介護課2名)	○ 入所者が全員往診に切り替え, 外出しなくなったことで, 感染の恐れへの不安が入所者家族, 職員とも小さくなっているとのこと。	